

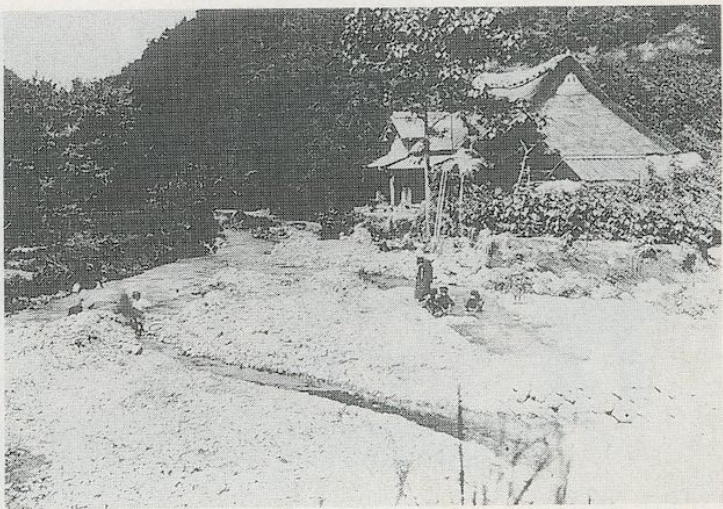
## 川とともに生きる (6)

県内の天災の歴史をまとめた「岐阜県災異志」によると、一五八一年から一八八〇年の三百年間に、長良川水系のこの地域の水害は百六回を数えました。

灌漑用水として大きな役割を果たしてきた蜂屋川、川浦川は梅雨末期や台風期を中心に集中豪雨の被害が目立っています。

左は、昭和十二年七月の蜂屋川の氾濫による加茂野の模様、下は、昭和五年七月の三和の水害による道路決壊の写真です。

三和の水害に際し、当時の村長のメモに「……僅か午後二時



より同四時に至る二時間余の短時間に、約二百二十五ミリの降雨量に達し、加ふるに山岳の崩壊約百二十ヶ所に及び、……」とあり、凄まじい被害の様子がうかがえます。(写真提供・加茂野小学校および荘加薫さん)

今回、次の方々から貴重な資料を市教育委員会に寄贈いただきました。ありがとうございます。

● 髪道具 (カンザシほか) 三点  
(渡辺良治さん／本郷町)

● 蚊<sup>か</sup>張<sup>や</sup> 一点

(井戸正二さん／田島町)

近い将来の博物館建設に向けて情報や資料を集めていますので、市社会教育課(内線三六一)までご連絡ください。